

# 平成29年度 須賀川市立西袋中学校の教育

《学校経営の理念》 ◎文武両道を目指し、活気とうるおいのある学校を創造する。  
◎生徒一人一人が持つ能力や可能性を引き出し、生徒の夢実現に向けた教育活動を実践する。



《めざす学校像》  
○ 生徒が安心して楽しく学べる学校  
○ 生徒一人一人が夢や希望をもち、その実現を目指し意欲的に活動する学校  
○ 「勤労・勤勉」「自主・自律」の校風を基盤とし、誠実に活動する学校  
○ 保護者や地域と連携し、信頼される学校

## 教育目標

《基本目標》  
豊かな心を持ち、実践力のあるたくましい生徒  
《具体目標》  
○ 明朗な生徒  
○ ねばり強い生徒  
○ 深く考える生徒

《学校経営の方針》  
① 職員の和を大切にし、生徒中心の学校経営を目指す。 (丸體 の尔)  
② 喜びと充実感のある学校生活を推進する。 (黍 喜郎の尔)  
③ 落ち着きとうるおいのある教育環境を整える。 (黍 格稀の尔)  
④ 家庭・地域社会との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。 (塩との)  
⑤ 絶えず研修に励み、使命感にあふれた教師像を追求する。 (黍)  
⑥ 遵守事項を踏まえ、規律ある服務・勤務に努める。 (黍)

の  
【尔 す 郎】

《重点目標》  
生きる力を身に付けた生徒

《県中教育事務所学校教育指導の重点》  
～子どもの「ゆめ」保護者の願いがかんう教育～  
① 「確かな学力」の向上 (授業の改善・充実、少人数教育によるきめ細かな指導、学びの基盤づくり、幼小中高の円滑な接続)  
② 「豊かな心」の育成 (道徳教育の充実・生徒指導の充実)  
③ 「健やかな体」の育成 (体力の向上に関する取組の充実、食育・健康教育の推進、幼児児童生徒の安全確保)  
④ 特別支援教育の充実 (一人一人のニーズに応じた教育)  
《須賀川市学校教育の重点》  
～一人ひとりの個性が輝き、生きぬく力を育む学校教育の推進～  
① 確かな学力の育成  
○ 目指す学力の明確化と授業改善 ○ 学びの基盤づくり  
② 豊かな心の育成  
○ 道徳教育の充実 ○ 組織的・体系的な生徒指導  
③ 健やかな体の育成  
○ 体力・運動能力向上策の推進  
○ 保健教育と安全教育の充実

○ 明朗な生徒  
○健康で安全な生活習慣を身に付け、進んで体力の向上・健康の保持増進に努める。( の )  
○他者との望ましい関わり方を考え、積極的に行動する。(情 の )

○ ねばり強い生徒  
○自分の立場や役割を自覚し、責任ある行動ができる。(軌願と)  
○目標を持ち、その実現に向けて継続的に努力する。( の 迪)

○ 深く考える生徒  
○望ましい学習態度や学習習慣を身に付け、学力の向上に努める。(丸 )  
○自ら問題をとらえ、正しい判断に基づいて解決することができる。( 冉於 )

① 健康で安全な生活を送ろうとする意識の高揚  
○組織的な健康相談、教育相談を実施する。  
○交通事故絶無のための指導を徹底する。  
② 体づくり、体力づくりの推進  
○保健体育の授業や部活動、学校行事の関連を図った運営により効果を高める。  
○体力テストの結果をもとに、小学校と連携を図りながら体力の向上を図る。  
○健康な心身を培うために、家庭における望ましい食生活の実践について連携を図る。  
③ 一人一人を認め合う学年・学級集団の育成  
○学級における人間関係づくりを意識した学級経営を実践する。  
○個を生かす場面を意図的に設定し、自己存在感や満足感を味わうことができるように努める。

① 道徳教育の充実  
○心に響く道徳教育を展開するため、特に道徳の授業の充実を図り、豊かな人間性の育成に努める。  
○教科の指導内容や学校行事との関連を図るとともに、地域の特色を生かした体験活動等を通して道徳性を養う。  
② 学級活動の充実  
○リーダーの育成や一人一人の役割・責任を明確にした係活動等を運営する。  
○学習や諸活動において、お互いを高め合う学級集団づくりに努める。  
③ 豊かな体験活動の拡充  
○キャリア教育の充実を図り、職業体験などの活動を実施する。  
○保護者や地域との連携を図ったボランティア活動を推進する。

① 「わかる・できる授業」の実践  
○1時間ごとのめあてを明示し、まとめの時間を確保する。  
○各教科で表現力育成を目指した授業を実践し「読む・聞く・話す・書く」等の言語活動を意図的に位置づける。  
○協同的な学び(主体的・対話的な授業)を展開する。  
○読書活動を推進し、読み取る力を育成する。  
② 家庭学習のあり方の改善と習慣化  
○保護者との連携により、家庭学習の時間を確保させる。  
○自主学習ノートの効果的な取り組み方を指導する。  
③ 校内研修の活性化  
○一人1研究授業を行い、事前と事後の協議により指導力の向上に努める。  
○小学校との連携を強化し、9年間を見通した教育活動を展開する。

○不登校傾向生徒への支援(不登校0を目指す)  
○日常生活アンケート(年5回)による生徒の実態把握と教育相談(チャンス相談)の実施  
○日常的な交通指導の実施(交通事故0)  
○部活動への積極的参加 ○自分手帳の活用  
○安全で衛生的な給食、食事のマナー等の指導

○「私たちの道徳」「心のノート」の計画的な活用  
○松明づくりと松明あかしへの参加  
○生徒会・学級活動の充実(一人一役)  
○情報の収集・共有と早期対応(いじめ0)  
○体験活動(1年)・職場体験(2年)・探究学習(3年)の実施  
○ボランティア活動への積極的参加

○学力テスト数値目標(全国・県平均超)  
○図書館教育の充実(読書年間10冊以上)  
○家庭学習の定着(自主学習ノート100%提出)  
○各種コンクールへの積極的参加  
○研究授業の実施・参加(一人1授業実践、1授業参観)  
○小学校との連携(学習習慣の共有)